

Title	石川忠雄教授略歴；主要著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1987
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.60, No.1 (1987. 1) ,p.299- 309
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	石川忠雄教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19870128-0299

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

石川 忠雄 教授 略歴

大正一一年一月二日

昭和二年九月

昭和二年一〇月

昭和三年九月

昭和三〇年四月

昭和三十一年七月―三十二年九月

昭和三五年三月

昭和三五年一〇月―

昭和三五年一二月―三八年五月

昭和三九年一二月―四〇年五月

昭和四〇年五月―四四年六月

昭和四四年七月―四六年一月

昭和四四年一二月―四五年二月

昭和四五年五月―

昭和四五年一〇月―四六年一月

昭和四六年一〇月―五二年五月

昭和四七年一〇月―

東京都に生る

慶應義塾大学経済学部卒業

慶應義塾大学法学部助手兼大学院特別研究生（文部省）

慶應義塾大学法学部助教

慶應義塾大学法学部教授

Harvard-Yenching Institute の Visiting Scholars Program によりハーバード大学に留学

慶應義塾大学法学博士

アジア政経学会常務理事、理事

慶應義塾体育会理事を兼任

慶應義塾体育会理事を兼任

慶應義塾常任理事兼慶應義塾大学法学部教授

慶應義塾体育会理事を兼任

在香港日本総領事館特別研究員

日本国際問題研究所理事

カリフォルニア大学バークレイ校訪問研究員

慶應義塾大学法学部部長兼同大学院法学研究科委員長

日本国際政治学会理事

昭和四八年一〇月―

日米欧委員会日本委員会委員

昭和四八年十一月―五二年十一月

文部省教育課程審議会委員

昭和四九年五月―六月

Lincoln Lecturer Program によりアメリカ講演

昭和五〇年四月―五五年三月

外務省外交問題懇談会委員

昭和五二年五月―五六年五月

慶應義塾長（理事長兼慶應義塾大学長）兼大学法学部教授

昭和五三年二月―五九年四月

文部省学術審議会委員

昭和五三年一月―

文部省私立大学審議会委員

昭和五四年七月―五七年五月

文部省大学設置審議会委員、常務委員

昭和五五年二月―

日中人文社会科学交流協合理事

昭和五五年三月―六〇年三月

全国大学体育連合会会長

昭和五五年五月―五八年二月

日本私立大学連盟副会長

昭和五五年八月―

International Association of Universities 理事

昭和五六年三月―五九年四月

文部省社会教育審議会副会長

昭和五六年五月―

慶應義塾長に再選

昭和五六年十一月―五九年十一月

文部省私立大学審議会会長代理

昭和五七年五月―

文部省大学設置審議会会長

昭和五八年二月―

日本私立大学連盟会長

昭和五九年三月―

日中友好二十一世紀委員会日本側座長

昭和五九年四月―

日本私立大学団体連合会会長

昭和五九年八月―

文部省学術審議会副会長

昭和六〇年五月―

臨時教育審議会会長代理

慶應義塾長に三選

昭和六〇年五月―

文部省大学改革協議会座長

昭和六二年三月

定年により慶應義塾大学法学部を退職

国際会議、視察、講演のため、アジア、アメリカ、ヨーロッパ、中東、アフリカ諸国へ海外出張多数

石川 忠雄 教授 主要著作目録

著書・編書

中国憲法史

中国共産党史研究

中国政治史講義案

中華人民共和国―その実態と分析―

国際政治と中共

現代中国の諸問題

戦後資料 日中関係 (中嶋嶺雄、池井優共編)

日中問題私見

私のみた日本外交

転換期の東南アジア (朴在圭共編)

訳書

ソヴィエトのアジア政策 (M・ペロフ著 小谷秀二郎共訳)

現代中国―その実態と分析― (ハワード・L・ポアーマン著 監訳)

湖北秋収暴動経過の報告 (三上諦聰・芝田稔共訳)

第四次全国労働代表大会に提出せる上海総工会の報告書 (三上諦聰・芝田稔共訳)

慶應通信

慶應通信

慶應通信

時事通信社

有信堂

慶應通信

日本評論社

酒井書店

慶應通信

成甲書房

日本外政学会

日本外政学会

関西大学東西学術研究所

関西大学東西学術研究所

一九五三年

一九五九年

一九六三年

一九六四年

一九六八年

一九七〇年

一九七〇年

一九七三年

一九七七年

一九七七年

一九五七年

一九六〇年

一九六一年

一九六二年

- 一九二二年より一九二六年にいたる中国共産党五年來の政治主張 (三上諦聰・芝田稔共訳)
 関西大学東西学術研究所 一九六三年
- 中国共産党史―中国共産主義と毛沢東の抬頭― (ベンジャミン・I・シュウォルツ著 小田英郎共訳)
 慶應通信 一九六四年
- 発信地―北京 (フレデリック・ノサル著 小田英郎共訳)
 時事通信社 一九六四年
- 抗日軍政大学の動態―中国共産党史研究の一資料 (三上諦聰・芝田稔共訳)
 関西大学東西学術研究所 一九六五年
- 毛沢東 (スチュアート・シュラム著 平松茂雄共訳)
 紀伊國屋書店 一九六七年
- 中共革命への道 (ガイ・ウイント著)
 時事通信社 一九六七年
- 中国―毛沢東以後への過渡期― (A・ドーク・バーネット著 山田辰雄共訳)
 鹿島出版社 一九七七年
- 単行書収録論文
- 中華人民共和国憲法の内容とその特質
 日本外政学会編『外政講座シリーズ 中共』 一九五六年
- 西安事件の一考察―モスコと中国共産党との関係について―
 慶應義塾大学法学部編『慶應義塾創立百年記念論文集 法学部第二部』 一九五八年
- 中国共産党のリーダーシップの若干問題
 日本外政学会編『中共政権の現状分析』 一九六一年
- 中華人民共和国の対日政策に関する一考察―一九四九年―一九五八年を中心として―
 英修道博士還暦記念論文集『外交史及び国際政治の諸問題』 慶應通信 一九六二年
- 中国現代史
 アジア政経学会編『中国政治経済綜覧』 日刊労働通信社 一九六二年
- 中国共産党の組織と実態
 アジア政経学会編『中国政治経済綜覧』 日刊労働通信社 一九六二年

中共の国内革命の成功

国民講座日本の安全保障編集委員会編『極東の安全保障』

原書房

一九六八年

抗日民族統一戦線の形成と西安事件

筑摩書房編集部編『世界の歴史』第一六巻

筑摩書房

一九六九年

日中関係の展望

日本文化フォーラム編『中国問題と日本の選択』

自由社

一九七一年

日中関係の展望と三極構造

K・メーネルト他著『巨大なる三角形 ワシントン―北京―モスクワ』

時事通信社

一九七二年

中国共産党史に見る党内権力闘争

桑原寿二編『中国の実像』

永田書房

一九七三年

日中関係概観

鹿島平和研究所編『世界の中の日本』

鹿島出版会

一九七五年

雑誌掲載論文

中国憲法の基本的諸問題に関する一考察―一九三三年以降の制憲論争を中心として―

(一、二完)

法学研究二二巻四、五号

一九四八年

清末及び民国初年に於ける連邦論と省制論

民国政治史論(一、二完)

法学研究二四巻九・一〇号

一九五一年

中華人民共和国三年のうごき(一、二、三完)

李立三コース問題の一考察(一、二完)

三田政治学会誌三三、三四号

一九五一年

大革命敗退直後における中国共産党について

三旗五九、六〇、六一号

法学研究二六巻七、九号

一九五三年

武漢政府時代の中国共産党

第一次国共合作とコミンテルン

法学研究二七巻八号

一九五四年

新中国に於ける人民民主統一戦線の意義とその将来

アジア研究一卷三号

法学研究二八巻一一号

一九五五年

アジア評論三五号

一九五五年

一九五五年

上海国是会議二種憲法草案	
李立三コースとロシア留学生派	
ハーヴァード大学に於ける中国研究	
コロンビア大学の中国研究	
アメリカの中国研究	
江西ソヴェエト期における抗日反帝統一戦線の諸問題	
ワシントン大学の中国研究	
社会主義圏における中国の役割―その自主性をめぐって―	
京漢鉄道罷業と陳独秀	
中共とソ連―中共の対ソ主体性―	
福建人民革命政府事件と中国共産党	
劉少奇をめぐる若干の問題	
中共の対日政策の分析―対日政策の基本目標と具体的政策の展開過程―	
抗日民族統一戦線形成過程における中国共産党とコミンテルン	
中共の対外政策―対日政策を中心として―	
中国共産党指導部に関する一考察―八期中央委員を中心として―	
東南アジアにおける中ソの活動状況	
東南アジアと中ソ関係	
アメリカの中国研究	
東南アジアにおける中・ソの活動	
内政と中共指導部の動向	
中ソ関係の展望	
国際政経事情二〇号	一九五六年
法学研究二九巻五号	一九五六年
外政四号	一九五七年
外政六号	一九五七年
アジア研究四巻四号	一九五八年
法学研究三一巻七号	一九五八年
外政八号	一九五八年
中央公論七三巻一一号	一九五八年
法学研究三一巻一二号	一九五八年
史泉一四号	一九五九年
法学研究三三巻二号	一九六〇年
共産圏問題四巻一号	一九六〇年
日本及日本人一一巻四号	一九六〇年
法学研究三四巻二号	一九六一年
アジア経済二巻三号	一九六一年
法学研究三四巻七号	一九六一年
共産圏問題六巻二号	一九六二年
中央経済一一巻四号	一九六二年
アジア研究四巻四号	一九六二年
三田評論六〇四号	一九六二年
自由四巻七号	一九六二年
共産圏問題七巻五号	一九六三年

ソヴィエト革命時期における紅軍の基本的性格に関する一考察 (平松茂雄共著)	一九七一年
日本の国益と中国問題	一九七一年
中国外交政策の新展開	一九七一年
日中復交と日本の国益	一九七一年
ニクソン大統領の訪中と台湾	一九七一年
単細胞では外交はできない	一九七二年
北京以後の日本外交	一九七二年
新内閣と中国問題	一九七二年
日中国交回復と台湾の地位	一九七二年
日中共同声明の読み方	一九七二年
「中国の本」をどう読むか (平松茂雄共著)	一九七三年
三極世界における日米安保の役割	一九七三年
日中復交と今後の外交姿勢	一九七三年
中国の動向と日中関係の将来―緊張緩和の動向に関連して― (平松茂雄共著)	一九七三年
日中復交と日本外交	一九七三年
多極化時代に於ける日本の進路	一九七三年
中国の外交姿勢	一九七四年
日本のアジア政策	一九七四年
一九四〇年代の国共関係	一九七四年
国際政治の認識と外交防衛政策	一九七四年
中国外交はこれでいいか	一九七四年
蒋介石没後の中国問題	一九七五年
法学研究四四卷三号	一九七一年
時の課題一五卷五号	一九七一年
国際時評七五号	一九七一年
自由一四三号	一九七一年
国際時評七八号	一九七一年
諸君四卷六号	一九七二年
経済往来二四卷一一号	一九七二年
国際時評九一号	一九七二年
アジア七卷一〇号	一九七二年
諸君四卷一二号	一九七二年
諸君五卷一五号	一九七三年
革新三〇号	一九七三年
月刊時事一八卷二二号	一九七三年
防衛論集一一卷三・四号	一九七三年
月刊時事一八卷七号	一九七三年
アジア八卷一二号	一九七三年
国際時評一〇五号	一九七四年
アジア・クォーターリー六卷一・二号	一九七四年
三田評論七三四号	一九七四年
革新四三号	一九七四年
自由一六卷六号	一九七四年
国際時評一二三号	一九七五年

変動化するアジアと日本の対応	論展二巻四号	一九七五年
激動する国際政治情勢下の日本の選択	経営者九号	一九七六年
毛沢東死後の中国—毛主席の遺功とその内包する宿命—	自由民主二四九号	一九七六年
一九八〇年代の中国と日本—アジアでの勢力均衡のための必要条件—	アジア公論六巻五号	一九七七年
新段階の中国・アジア・日本	アジア一二巻九号	一九七七年
大躍進運動をめぐる党内論争 (田分良成共著)	法学研究五二巻七号	一九七九年
英文論文		
Communist China's Policy toward Japan, E. F. Szezepanik, ed., <i>Symposium on Economic and Social Problems of the Far East</i> (Hong Kong University Press, Hong Kong), 1962.		
The Role of China in the Socialist Camp, <i>Journal of Social and Political Ideas in Japan</i> , Vol. 1, No. 1, 1963.		
How to Look upon the Reality of Communist China—Its Domestic Situation and Foreign Policy, <i>Review</i> (Tokyo), No. 4, 1965.		
Communist China's Policy toward Japan, <i>Journal of Social and Political Ideas in Japan</i> , Vol. 4, No. 4, 1966.		
Japan, China und das Dreieck, <i>Das große Dreieck Washington-Moskau-Peking</i> , Mit Beitr. v. Schweilen, Joachim, Deutsche Verlags-Anstalt, Stuttgart, 1971. (雑誌「国大内外」(漢語))		
Outlook on Sino-Japanese Relation, <i>Japan in World Politics</i> , Institute for Asian Studies, 1972.		
The Normalization of Sino-Japanese Relations, Priscilla Clapp and Morton H. Halperin, eds., <i>United States-Japanese Relations: the 1970s</i> (Harvard University Press, Cambridge, Massachusetts), 1974.		
A Review of Japanese-Chinese Relations, Kajima Institute of International Peace, ed., <i>Japan in the World</i> (The Japan Times Ltd.), 1976.		

資料・その他

上海国是会議乙種憲法草案解題

中華人民共和国婚姻法（須藤次郎共著）

解説 中華人民共和国における政党及び団体

中華人民共和国全国人民代表大会及び地方各級人民代表大会選挙法（及川恒忠共著）

新中国選挙法に関する資料

中華人民共和国憲法及び四組織法（及川恒忠共著）

戦後日本における現代中国関係主要雑誌論文目録（一）～六迄

ロバート・C・ノース氏による張国燾回顧談記録

オーエン・ラティモア教授著作目録

最近日本における現代中国関係主要雑誌論文目録（一）、二迄

International Press Correspondence における中国関係記事目録

一九二二年一〇月（創刊）～一九二七年七月

International Press Correspondence における中国関係記事目録

一九二七年八月～一九三〇年六月（徳田教之共著）

中山艦事件「党務整理案」問題に関する中国共産党関係資料

「陳誠文庫」目録—台湾における中国共産党史資料—

「八・一南昌暴動」に関する四文書

私の人生

講演 日中友好の条件

法学研究二三卷七号 一九五〇年

法学研究二三卷一〇号 一九五〇年

法学研究二四卷一号 一九五一年

法学研究二六卷四号 一九五三年

法学研究二七卷五号 一九五四年

法学研究二八卷三号 一九五五年

法学研究二九卷六～一一号 一九五六年

法学研究三〇卷一一号 一九五七年

法学研究三一卷五号 一九五八年

法学研究三一卷一、一二号 一九五八年

法学研究三二卷一一号 一九五九年

法学研究三三卷五号 一九六〇年

法学研究三三卷一〇号 一九六〇年

法学研究三五卷七号 一九六二年

法学研究三六卷一〇号 一九六三年

非売品 一九八一年

国民外交協会講演録 一九八五年